



## ◎新型コロナ対応 5類移行で何が変わった？

5月8日に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行され、このことに関する「新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後の協力について（お願い）」（嬉野市教育委員会）を5月8日に配布いたしました。補足として、マチコミメールでお知らせした内容とともにご確認をお願いいたします。なお、念のためマチコミメールの内容を再度お知らせします。



吉田中HP・QRコード

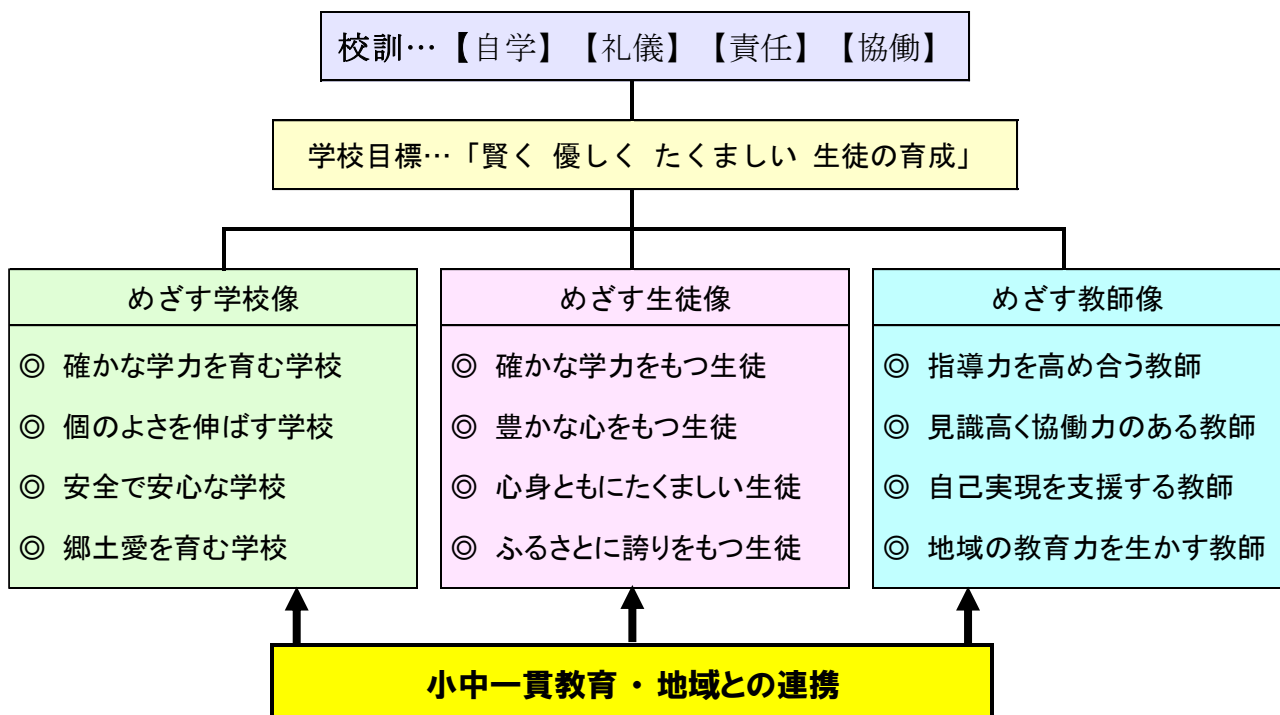
今後かぜ症状があり、お子様が欠席された場合は、以下のとおりとなります。

- 発熱やせき、のどの痛みなどのかぜ症状があり、学校を欠席する場合は「病欠」となります。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、「出席停止」となります。
- お子様が、かぜ症状のために欠席する場合であっても、吉田小中学校に通う兄弟姉妹の登校を控える必要はありません。

以上、よろしくお願ひします。なお、不明な点がありましたら、随時ご相談をお願いいたします。(43-9321)

## ◎学校教育目標及び重点目標について

学校教育目標等については、PTA 総会の資料にてお知らせしておりますが、学校教育目標、重点課題等について、少し説明します。



学校教育目標は、「賢く（知） 優しく（徳） たくましい（体） 生徒の育成」としており、知・徳・体の観点で、子どもたちの強みを生かしながら成長へと導きたいと考えています。

令和5年度の重点目標については、下表のとおりです。令和4年度からの変更点は、確かな学力の育成において、「論理的思考力を高める学習指導」を挙げている点です。

「論理的」とは、筋道が通っていて、客観的に矛盾がないことです。「思考」は、経験や知識をもとにあれやこれやと考えることです。したがって、「論理的思考力」は、「客観的に矛盾がなく、筋道が通るように考える力」と考えています。さらに、そのことを他の人に説明するところまでできるようになれば最良です。

この論理的思考力を高める手立てについては、現状を知るために先月実施した認知能力テストの結果をもとに考え、実施していきます。テストの内容は、「思考力」「言語能力」「数的能力」「記憶力」「処理速度」を測定するものです。結果が届きましたら、個表をお渡しします。

### 令和5年度 重点目標の具体的取組

吉田中学校

●確かな学力の育成	
基礎・基本の定着を図り、論理的思考力を高める学習指導	・個に応じた「教え方・時間のかけ方・教材」の工夫 ・論理的思考力を高める取組と家庭学習の習慣化
生徒が生き生きと学び合う授業づくり	・「主体的・対話的で深い学び」を引き出す発問の工夫 ・「吉田メソッド」の深化
●豊かな心の育成	
道徳教育及び人権・同和教育の充実	・道徳科の授業の充実 ・生徒主体の人権学習の推進
いじめの未然防止と早期対応	・自他を尊重し、支持的風土のある学級・学校づくり ・日頃の観察、アンケート等による早期発見と組織的対応
●たくましい心身の育成	
健康の増進と体力の向上及び保健管理の徹底	・運動、休養、食事のバランスの良い生活を理解し実践する生徒の育成 ・感染症予防対策の徹底
自己肯定感を高める教育活動の充実	・自己実現に向けて、主体的に努力する生徒の育成 ・一人一人の自立に向けた特別支援教育の充実
●小中一貫教育並びに地域とともにある学校づくりの推進	
9年間の学びを意識した小学校との一貫教育の充実	・小中教員の相互乗り入れ授業や交流授業の継続 ・小中合同の研究授業や校内研究の充実
つながりを大切にし、郷土愛を育む「吉田学」等の推進	・地域との一体感を育む教育活動の充実 ・SDGsの視点でつなぐ総合的な学習の時間の充実
●働き方改革の推進	
業務効率化の推進、生徒と関わる時間の充実	・共有化、共通化、可視化とICTの効果的活用 ・生徒と共に活動する時間の充実

★嬉野市の教育目標は、次の通りです。この目標を踏まえ、吉田中学校の教育目標を設定しています。

学校教育において、『生きぬく力（自ら学び・考え・行動する力）』を育み  
うれしの新次代を創る『心豊かでたくましい嬉野っ子』を育成する

### ◎今後の主な行事予定

- 5月15日（月）学校集金日
- 5月16日（火）学校集金日
- 5月17日（水）市内一斉部活動休養日
- 5月19日（金）眼科検診（全学年）
- 5月23日（火）歯科検診（全学年）3年実力テスト（24日まで）
- 5月31日（水）小中合同クリーン大作戦

